

令和2年度 二期入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 14
千葉県立泉高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

次のすべてを目指す生徒 ア 基本的な生活習慣を確立させること。 イ 本校入学後、学習活動・部活動・特別活動等に意欲的に参加して自己を磨くこと。 ウ 進路の実現に向けて、積極的に学校生活を送ること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	3教科（国語・数学・英語）の成績を資料とする。
(2) 調査書	全教科の評定を含む記載事項を資料とする。
(3) 面接	評価者3名。面接時間5分程度。 評価項目の各評価を基にして、ABCの3段階で評価する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査（各教科100点満点）

評価項目	評価基準
3教科の得点合計	3教科（国語・数学・英語）の得点の合計により評価する。 0点の教科がある場合は、慎重に審議する。

(2) 調査書（合計230点満点：アについて180点満点、イ～エについて上限50点）

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	1・2年次全教科の評定を合計した値と、3年次全教科の評定の合計を2倍した値との合計値で評価する（算式1は用いない）。 評定1がある場合は、慎重に審議する。
イ 出欠の記録	皆勤について評価する。3年間で30日を超える欠席は、慎重に審議する。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○の数が2個以下の場合は、慎重に審議する。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	部活動、生徒会役員、学級委員長、各種検定等について評価する。
オ 総合所見	特に意欲的な態度や、優れた活動内容等について参考とする。

(3) 面接

ア～オの評価項目の評価を基にして、A B Cの3段階で評価する。

評価項目	評価基準
ア 意欲	高校生活への意欲的な姿勢が感じられる。
イ 服装	頭髪・服装が端正で乱れない。
ウ 態度	礼儀正しく、落ち着きのある態度である。
エ 言葉遣い	丁寧な言葉遣いをする努力が感じられる。
オ 応答の的確さ	質問の内容に見合った答えができる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の期待する生徒像に基づき、面接の評価により3つのグループに分け、それぞれのグループで学力検査3教科の得点と調査書の得点の合計により順位をつけ、総合的に判断する。なお、調査書の記載内容、学力検査の個々の教科の得点、面接検査の結果等について問題があるときは審議する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。

5 その他

過年度卒業者については、検査終了後、別途個人面談を行う。